

2017年7月6日

展示会（コンクリートテクノプラザ 2017）へ出展します

青木あすなろ建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：上野康信）は、コンクリートに関する新技術、新工法、新製品を紹介する「コンクリートテクノプラザ 2017」へ出展いたします。

「コンクリートテクノプラザ 2017」は公益社団法人日本コンクリート工学会主催の「コンクリート工学年次大会 2017（仙台）」の主要行事で、ブース形式による新材料、新技術、新工法の展示が行われます。なお、当社の出展内容は以下のとおりです。

出展内容 : ①摩擦ダンパーを用いた橋梁耐震工法

②制震ブレースを用いた耐震補強工法

③オーリス（非破壊調査システム）

※1 出展する工法の詳細は次ページに記載のとおりです。

※2 出展ブース番号は「18」です。

< コンクリートテクノプラザ 2017 概要 >

開催日時 : 2017年7月12日（水）～14日（金）

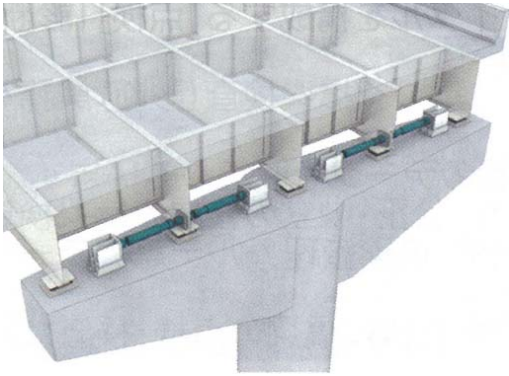


開催会場 : 仙台国際センター「展示室」

（宮城県仙台市青葉区青葉山無番地）

主催者 : 公益社団法人日本コンクリート工学会主催

公式HP : <https://confit.atlas.jp/guide/event/jci2017/top>

※ 1 工法詳細

<p>①摩擦ダンパーを用いた橋梁耐震工法</p>	<p>出展内容</p>
	<p>当社独自の「ダイス・ロッド式摩擦ダンパー」を用いて、既設橋梁の耐震性を向上させる技術です。</p> <p>近年、地震直後における公共インフラの機能維持が課題となっています。当社は、既設橋梁の支承部に「ダイス・ロッド式摩擦ダンパー」を設置することで耐震性能を向上させ、地震直後も交通機能を維持できる耐震補強工法を、首都高速道路㈱と共同開発しました。</p>
<p>②制震ブレースを用いた耐震補強工法</p>	<p>出展内容</p>
	<p>建物を使いながら補強工事が可能な工法です。</p> <p>本工法は、制震ブレースを建物外部に取り付けるため、建物を使いながらの補強工事が可能です。</p> <p>制震ブレースの外観はスリムであるため、採光や通風への影響は小さく、建物外装と合わせた塗装を施すことで建物と一体化したデザインとなります。また、内装やサッシの解体・復旧が不要であるため、廃棄物の発生を抑えた環境にやさしい工法です。</p>
<p>③オーリス（非破壊調査システム）</p>	<p>出展内容</p>
	<p>構造物の形状寸法や内部に生じた亀裂を簡便に検知できる非破壊調査システムです。</p> <p>可搬性に優れた調査機器を用いて、コンクリート構造物や基礎杭などに発生したひび割れの有無、岩盤や転石の亀裂や根入れの調査が行えます。構造物の維持管理のための点検・診断技術として調査実績が増えています。</p>

以上